



平成30年2月 第2例会 晴

点 鐘 隈元 雅博会長
R ソ ン グ 我らの生業
お 客 様 新村 裕紀
(君津市国際交流協会 事務局 次長)
" 金子 憲枝
(君津市国際交流協会)
四つのテスト 新井 正一会員

【出席報告】 免除者4名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2036	59	54	49	5	90.74%
2035	59	56	54	2	96.42%
前々回の修正		メイクアップ0名			88.18%

(敬称略)

会長挨拶及び報告

隈元雅博会長

皆さん、こんにちは。

平昌オリンピックも残すところあと1週間になりました。

小平選手の金メダル、羽生、宇野選手の金銀ダブル表彰台などうれしいニュースとその他様々な競技で毎日感動をいただいています。

ご存知のようにオリンピックは別名『平和の祭典』とも言われます。

オリンピック期間は基本的に停戦協定が結ばれ、報道も規制されるようです。

しかしながら今この時も、世界では内戦状態が続く国々や政治的理由により難民となった人々が貧困や病気に苦しんでいます。

私自身も常にその人たちのことを思って生きることではできません。仕事や余暇を楽しむ時間、仲間や家族と団欒する時間、一人でリラックスする時は、自分の中から、そのように苦しんでいる人々を想う気持ちは薄れています。

本当の話、自分が今生きている環境の中では常に緊張状態ではられません。

ただ、本日は地域貢献と世界平和活動を考え、実行するRCの例会です。せめてこの時間だけはそのように苦しむ人々に、今何ができるかを考え、でき

る限りではありますが実行していきたいと思っています。

先日国連UNHCR協会から『命のメジャー』が送られてきました。緊急事態の中で5歳未満の子供の栄養状態を診断する最も確実な方法は、上腕の太さをこのメジャーで測定することだそうです。深刻な栄養失調になっている子供の太さは、ペットボトルのキャップほどしか無いそうです。

私たちにできることは限られています。しかしロータリアンとしてまだまだできることはあるはずです。4年に一度の平和の祭典の最中、もう一度自分自身ができること、家族や仲間と共にできる地域貢献と世界平和活動について考え、実行していくではありませんか！

報 告

1. 第8回理事会が2月5日に開催されましたので報告を致します。

①会計報告〈報告〉*承認

異義なし

②NPO法人かものはしプロジェクト卓話について *承認

5月7日例会内にて (30分程度)

講演料:10,000円

③戦国の里・三舟山&郡ダムお花見ウォーク開催にあたり協賛について *承認

例年通り1万円の協賛

④2018年度かずさ市民応援団会員登録更新について *承認

例年通りゴールド会員(5口)として登録更新する

⑤新理事会開催について *承認

3月5日例会終了後13時30分~

⑥その他:次回理事会について *承認

3月5日例会前11時30分~

2. 2月10日(土)ロータリー財団補助金管理セミナーが開催されました。

当クラブからは次年度ロータリー財団委員長大川会員、次年度ガバナー補佐吉野会員、次年度幹事岡野会員が出席されました。お疲れ様でした。後程、大川委員長予定者より報告をお願い

します。

3. 2月12日(月) R L I (ロータリー・リーダーシップ研究会) part I が開催されました。

当クラブからは、岡野副幹事・黒岩会員・大住会員・武田会員・福田会員・佐々木会員が出席されました。後程、武田 S A A より報告をお願いします。

4. 2月17日(土)～18日(日) 第41回 R Y L A セミナーが開催されました。

当クラブからは、地区 R Y L A 委員長 阿部昭広会員、R Y L A 実行委員会委員 吉野会員、黒岩会員・岡野会員・佐々木会員・参加ロータリアンとして福田会員・平野会員・村上会員、参加青少年として木信産業(株)の坂部様、三木造園土木(株)の大森様と刈込様が参加されました。お疲れ様でした。3月19日、阿部委員長より報告をお願いします。

5. 2月17日(土) スリランカセミナーが開催されました。

当クラブからは、2790地区国際奉仕委員長 鈴木会員、当クラブ国際奉仕委員長 大住会員、国際奉仕副委員長 大森会員が出席されました。お疲れ様でした。後程、大住委員長より報告をお願いします。

幹 事 報 告

荒井潤一郎幹事

1. 例会変更についてのお知らせ

〈木更津 R C〉

- ①日時：3月1日(木) 休会

理由：2月25日の地区大会を移動例会とする

- ②日時：3月22日(木) 休会

理由：クラブ定款第8条第1節C項による

2. 2月23日(金) 周西小学校にて出前教室が開催されます。

講座を開講してくださる職業奉仕委員会の川名会員、永嶋会員、原田会員、西山会員、黒岩会員、宮本会員、中野会員宜しくお願ひ致します。

集 合：9時45分 周西小学校(現地集合)

終了予定：12時

3. 2月24日(土) 君津ライオンズクラブ創立50周年記念式典が開催されます。

場 所：オークラ・アカデミアパークホテル

受 付：13時30分～

式 典：14時30分～

出席者：隈元会長・岡野副幹事

4. 2月24日(土)、25日(日) 第2790地区の地区大会が開催されます。

24日は早見副会長・私(荒井幹事)が出席します。翌日25日は当クラブ会員21名が出席予定

です。集合は朝7時30分、ホテル千成です。

5. 3月4日(日) 君津市少年野球連盟総合開会式が開催されます。

場 所：君津市民文化ホール(中ホール)

時 間：13時～

出席者：早見副会長

6. 甲府東 R C との合同例会・交流会に出席される方は事前に会費を収集します。

事務局までお願いします。(会費は15,000円です)

〈回 覧〉

1. 君津 R C 週報
2. 第4分区週報
3. R L I (ロータリー・リーダーシップ研究会) part III の出欠の案内
4. ロータリー手帳の申込みについて(2017-2018年度版)
5. 2018年決議審議会立法案提出のご案内
6. ザ・ロータリアン(英語版)
7. 第4分区親睦マージャン大会の出欠の案内
8. ハイライトよねやま

〈配布物〉

1. 例会プログラム

委 員 会 報 告

ロータリー財団委員会

2018-19年度 R I 第2790地区ロータリー財団補助金管理セミナー出席報告

大川裕士次年度委員長

2月10日土曜日 T K P ガーデンシティ千葉で行われました、補助金管理セミナーへ次年度ガバナ補佐の吉野会員、次年度幹事の岡野会員と出席して参りました。

ガバナー、ガバナーエレクト、現委員長、次年度委員長の挨拶、次年度委員長による次年度委員会の構成説明、各委員長による委員会説明、補助金申請の説明がありました。

ロータリー財団委員会活動を理解している会員だけが出席している、次年度への引継ぎ説明会の様であまり理解出来ませんでしたが、最低限の内容を報告させていただきます。

2018-19年度の申請期日等は、

申請書提出期間：

2018年3月1日～3月31日締切り(当日消印有効)

審査期間：

2018年4月1日～4月15日

プロジェクト実施期間：

2018年7月1日～2019年3月31日

最終報告書提出期日：

プロジェクト終了後1ヶ月以内

最終期限は2019年4月30日です。

地区補助金の対象となる事業は、3つあり、

1. 財団の使命にあてはまる活動
1. ロータリアンが積極的に関与する活動
1. 地区ロータリー財団委員会が定めた条件に合致する活動です。

地区補助金の対象となる活動・ならない活動の具体例の定めが18例記載されています。当クラブの活動に該当するだろう具体例としては、1) クラブが毎年継続して活動しているものについては、過去に申請され、承認されたものは、その後概ね5年間に1回申請出来ることとしている。2) 植樹や環境保全、環境美化活動、公園の遊具やベンチ、これらの維持管理道具類の寄贈は、地域社会全般に役立つものであれば適格です。の2例かと思えます。地域のニーズが高い子供達の研究・学習・放課後のプログラム支援事業も可能ですが、補助金の対象とならない場合もありますので、事前に地区ロータリー財団委員会にご相談ください。との例は、職業奉仕委員会活動に係るのかと感じますが、過去4年間では申請していないので対象外なのかと思っていますが、要相談かなとも思います。

補助金額は3年前の年次基金寄付を地区財団活動資金と国際財団活動資金に50%ずつ配分され、基準に当てはまる予算項目の合計額の50%を目途にし、1クラブに配当する金額は30万円を上限とします。

又、前年度、年次基金寄付ゼロクラブは補助金授与の対象から除外されます。とのことです。

ついでながら、過去4年間の地区補助金授与内訳は2014-15年度は27件、2015-16年度は30件ロータリーアクト1件対象外1件、2016-17年年度は38件対象外3件、2017-18年度は33件です。

4年連続授与しているクラブは君津RC含めて9クラブあり、ゼロは21クラブあります。

2018-19年度の覚書(MOU)提出クラブは84クラブ中69クラブとのことでした。

次に分区の名称変更についてです。2018-19年度より分区をグループに変更します。第3分区はAとBがありますので、第4分区は第5グループと名称変更になります。以下繰り下げになります。

年次基金寄付が過去2年ゼロでないのは日本だけとのことで、是非続けたいと櫻木次年度委員長が言われました。2790地区内で2月10日時点で年次基金寄付ゼロクラブが多くあるとのことですが、第4

分区からは呼ばれませんでした。

途切れるとガバナーに恥をかかせることになるので年次基金寄付ゼロクラブをなくす為、対策をガバナー補佐に任せるとのことでした。第5グループでは吉野ガバナー補佐が担当です。

最後に、宇佐美委員長も地区の年次基金寄付目標として、年次基金寄付1人150ドル、ポリオプラス1人30ドルを是非お願いしたいと、とりわけ、ポリオプラスに対しての思い入れが強かったです。ポリオ常在国は3ヶ国ありますが、もう少しで根絶出来るとのことでした。

日本でのポリオ接種費用は1人当たり1回5000円で4回接種、計2万円掛り、新生児100万人として200億円必要になるとのことでした。

報告している本人が、よく分からないままでの報告で申し訳ありません。今後勉強したいと思っています。以上報告を終わります。

ありがとうございました。

国際奉仕委員会

スリランカセミナー参加報告

大住昌弘委員長

1. 日 時：
2018年2月17日(土) 10時30分～13時30分(昼食懇親会含む)
2. 場 所：
三井ガーデンホテル/千葉市
3. 参加者：
スリランカ大使館参事官：
サマンタP.K.ウィジェセーカラ氏
日本スリランカビジネス評議会：
チャンディカ・ペレーラ氏
米山奨学生学友等、スリランカ関係者数名
外務省広報関係嘱託員(セレンディップパートナーズ代表)：中島優子氏
国際RC2790地区ロータリアン約25名
(当RCより、鈴木直前会長、内山会員、大森会員、大住の4名が参加)
合計約40名
4. 概 要：
・昨年、RI2790地区奉仕プロジェクト関係者などがスリランカの人たちの雇用拡大と自らの事業展開の観点で、スリランカ大使館を訪れたことがきっかけとなり、今回セミナーの開催となった。
・本セミナーは、RI2790地区国際奉仕委員長で君津RC直前会長の鈴木氏が企画・運営を行った。このセミナー開催に際し、鈴木さんから大使館参事官に、いい加減してくれと言われるほど具体的な質問を提起した、とのこと

で、準備に随分力を掛けられた模様。

- ・今回のセミナーにはスリランカへの国際奉仕にかかわっていたり、スリランカにビジネスや同国人の雇用に関わるロータリアン中心に集まった。
- ・スリランカ大使館からプレゼン内容の中で、スリランカ人は、①勤勉であること、②温和であること、③知識レベルが高いこと、のPRがあったが、我々が1月にスリランカを訪問した際実感したり、実際にスリランカ人を雇っている人から同様な意見が出され、違和感はなかった。同国人の大半が敬虔な仏教徒であることも理由であると思う。
- ・同国への事業投資として、自動車販売・修理、日本人が安心できる観光地でのホテル経営やそこにつながる主要な地点での休憩所の経営など色々なアイデアが提示され、簡単ではないが可能性はあると思う。
- ・スリランカで事業をする際、リスク回避の観点から信頼できる現地パートナーを見つけるためには、基本的には在日スリランカ大使館や日本スリランカビジネス協議会に相談してほしい、とのことだった。

5. 君津RCとして継続的な国際奉仕活動をするべきだと考えており、スリランカには水事情の悪い環境にいる子供たちが多く、今年度実施した浄水器の贈呈等続けることに会員の理解を得たい。
- また、同国の子供たちを支援する基金の設立など、心ある有志の協力を得たい。

ロータリーリーダーシップ研究会パートIに参加して 武田富士子会員

君津RCからは、黒岩会員・岡野会員・佐々木会員・福田会員・大住会員、そして私武田が参加してきました。受講者は県外からの方を含め75名、ファシリテーター役の方や役員の方々が約30名の参加の元に開催されました。鈴木会員は、役員として参加してくれました。

ロータリー・リーダーシップ研究会（RLI）パートIのカリキュラムは、6つのセクションにて行いました。1セッション50分×6時限の構成です。

- ①リーダーシップの本質をつかむ
- ②私のロータリー世界
- ③倫理と職業奉仕
- ④財団とI/私たちの財団
- ⑤会員を引き込む
- ⑥奉仕プロジェクトを創造する

1セッションを小グループによるファシリテーション手法での展開とされ、ファシリテーターによ

る質問事項・話題提出事項に参加者が意見交換・ディスカッションするというものでした。ディスカッションは、自分たちのクラブの活動のことを発表し、他のクラブの活動内容を聞く事が出来ました。そしてこの小グループはセッションごとにメンバーが入れ替わり、いろいろなクラブの活動を聞きながら、自分たちのクラブの活動をピーアールする事が出来、参加者同士名刺交換をして親睦を図ることも出来ました。とても有意義な時間でした。ただ、④番目の「私たちの財団」の時間は、財団の知識が乏しかったので苦労しました。設問…なぜ「ロータリー財団」はRIと分離されているのでしょうか？と聞かれました。どう答えたら良いのか解りませんでした。セッションに参加後の今もまだ理解できていない自分がいます。財団の事をもう少し理解しておくべきだったと感じました。今後クラブとして財団についての勉強会があっても良いのかななんて思いも致しました。

今回RLIに参加してとてもよかったと思い、パートIIへの参加申込みを致しました。是非皆様も機会がございましたら、ご参加してみてください。

公共イメージ向上委員会

「ロータリーの友」2月号紹介

松井泰次郎委員

ロータリーの友の2月号の記事についてご紹介を致します。時間の関係で縦書きから2記事、横書きから1記事を紹介致します。今月号は特に「平和と紛争予防『平和に寄せる思い』」に関わる記事の特集号になっております。

先ずご紹介するのは横書きP8ページ目に掲載されている「原爆から生き残る」と題された川妻二郎さんの記事です。川妻さんが出来る事として

- 1) 世界平和を願いながら原爆から生き延びた樹木の苗木を植樹すること
- 2) 平和のメッセージを少しでも多くの世界に伝えること

が記載されています。私の父は終戦を九州の久留米で終えたのですが、久留米から石川に戻る際に広島を通過した際、見渡す一面「焼け野原で言葉も出なかった。」と言っていた事を思い出しました。

今、各アスリート達が活躍しているピョンチャンオリンピックで、今一心が晴れない気分でオリンピックの放送を見ているのは私だけでしょうか？北朝鮮の核兵器問題について我々が出来ることはないのか考えさせられる問題と思います。

二つ目は、縦書きP.4～8ページに掲載されている「戦線からの生還・開拓・奨学金」の今泉さんの記事です。約19万人もの戦死者を出したインパール作戦に参戦された今泉さんのビルマ奨学会を

設立された貴重な講演記事です。60歳を過ぎて、1989年に総収入1000万円を叩いて今泉記念ビルマ奨学金事業をつくられたそうです。その思いは、世界一の親日のミャンマーの方々と戦死された戦友達に対し、

1) 戦時中の恩返し (ミャンマーの人達には平和で幸せになって欲しい)

2) 天国にいる戦友たちに申し訳ない

との思い一身でこの28年間継続されて来ているとのことです。

平和への思いに関する掲載記事2件を紹介させて頂きましたが、私自身、今泉さんと同じ年齢になっていますが世界平和の為に何が出来るのか考えさせられるこの2月号でした。今後、この君津RCで「世界平和と社会奉仕の精神」を自分なりに出来るだけ貢献できればと改めて思った次第です。

三つ目は、縦書P.32ページに当クラブ「枝豆収穫体験を通じた地域交流」の記事が掲載されました。皆さん、是非ご覧下さい。

プログラム

卓話「ホームステイの受け入れは、国際理解の第一歩!」

君津市国際交流協会 金子憲枝様

君津市とK I E Sでは2016年度からホームステイの受け入れをしています。千葉県内の高等学校を表敬訪問する、台湾やマレーシアの学生達が今までのゲストでした。そんな中、昨年と一昨年の十二月にマレーシアの学生を受け入れるホームステイのお手伝いをしました。



一昨年からの経験を紹介します。実際に我が家には泊まって頂いたわけではなく、大きなご自宅に暮らしている方のお宅に四名の生徒を受け入れました。英語が苦手なホストの方は、受け入れるのはいいけど、ホストの主婦が自分一人では心配との事で、キーズの日本語教室の仲間が二人、お手伝いをする事になりました。それが新村さんと私です。

私達三人は、普段から国際交流協会の日本語教室で、外国出身者に日本語を教えているため、外国出身者との交流はありますが、ホストの広上さんと新村さんは、英語があまり得意ではなく、でたらめ英語でも臆さず話す私の英語力が買われて、初年度は戦力として協力を求められました。でも、実を言うとホームステイには英語力はあまり必要ではなく、言葉が通じないで身振り手振りで必死になって伝える事の方が楽しいので、私のでたらめ英語はどうでもよかったんです。

ただ、最初の年に役立ったと思った事は、私がムスリムで、ゲストの彼女らの食生活や生活習慣についてをよく知っていた事で、生徒さんが余計な心配をせずに安心して食事をし、お腹いっぱい何でも食べて満足して帰ってくれた事でした。このことは私の方で感謝したいくらいでした。(ムスリムとはイスラム教を信仰する人の事)

夕方に対面式があり、食材を買いに行き夕食を食べ、一晩眠って翌朝朝食を終えたらもう送っていく時間。こんなに短時間のホームステイ受け入れ体験は、四人の可愛い娘達の涙と、君津のおばちゃん達の涙・涙のお別れになりました。最初は「部屋があっても英語が出来ないから」と、渋っていたホストの広上さんが別れ際にいつまでもゲストの女の子の手を握って離さなかった姿が印象的でした。

彼女達は帰国後も時々メールを送ってくれたりして、「インシャーアッラー、いつか日本へ留学したら、お母さん達に会いに行きます。」と言ってくれます。その日が待ち遠しいです。(インシャーアッラーとは神のお許しがあればという意味で、ムスリムがよく使う言葉です。)

さて、「楽しかったけどあっという間だったね〜!」「あれもしたかったね!」「こんな風にすればよかったね。」と、反省したかと思うとあっという間に一年が過ぎ、秋が近づくともたまたまホームステイ受け入れの話が持ち上がりました。「今年もマレーシアからだって!」「今度もクアラルンプールの生徒みただよ!」色んな声が聞こえてきます。初年度あんなに楽しかったから、今度は自宅で受け入れたくてしかたがない私は、帰って直ぐ夫に相談しますが…、夫の帰宅がとても遅く、朝は6時過ぎには出勤なので、家主がほとんど家に不在の状態で受け入れは無理でしょうとのこと。がっかりしていましたが、広上さんが二年続けて受け入れて下さることになり、今回も新村さんと金子さんのコンビが広上さんをお手伝い致しました。

「マレーシアからのゲストはほとんどがムスリムの様だ。」ということで、受け入れるホストの方も身構えてしまったようです。やっぱり「イスラム教=食べ物難しい」と思われてしまったのですね。市役所の担当の方も、その対応をどのようにしようかと対策をK I E Sに相談にみえたそうです。

その点で白羽の矢が私に立ちました。内心チャンスと思って心が踊りました。商業的ではないハラールは難しくないことを説明できるこの上ない機会だと思ったからです。

お伝えした大きなポイントは次の通り。食事で気を付けてあげて欲しい事は三つだけ。「お肉は豚肉はもちろんダメですが豚肉でないお肉もハラール処理されたものを使用すること」「豚肉由来の材料

を使わないこと」「アルコールとアルコールを含む調味料を使わないこと」この三点だけです。魚や野菜は全く問題ないので、一般的な和食は大概作ることが出来ます。とお伝えしたら驚かれていました。

(ハラール処理されたお肉は業務スーパー等で購入出来ます。)

近年の日本でこそ大型の動物肉を食べる様になりましたが、古来日本人が親しんできた和食は実はハラールフードにとっても近い物です。もしもムスリムの方を食事に招く機会があるとしたら、精進料理を思い浮かべて下さい。鰻や穴子、房総でしたら美味しいお魚や季節の野菜の天ぷら、里山と海に面した自然の恵みが沢山あります。ホームステイでは、一緒に食べるお食事は夕食と朝食の二回でしたが、揚げたての天麩羅から朝摘み苺のデザートまで堪能し、朝食には初めて作った自作のおにぎりを味わい、腹ごなしに川沿いへお散歩に出かけ、部屋には忘れ物を二つもして帰りました。帰り際に「今度はクアラルンプールで会おうね！」って、今回は笑って別れるつもりだったのに、何故だかまた涙の別れになってしまいました。

今年度のゲストはクアラルンプール近郊のセコンダリースクールの生徒達。実は、その時点で私と夫が一月にクアラルンプールに数日旅行することが決まっていた。ですから、今度こそはインシャーアッラー私が彼女達に会いに行けるかもしれないと思っていました。(まさか忘れ物を届けるとは思いませんでした。)

一月のクアラルンプールは雨期で南国なのに思っていた程暑くなく、最高気温は28度くらい。冬の日本から行くと暖かくてとても過ごしやすかったです。学校へは電話連絡をし、校長先生と打ち合わせて忘れ物を届けながらご挨拶にうかがうことになりました。実際にうかがいますと学校内を校長先生自らが案内して下さり、授業や研究発表の様子を見学させて頂きました。教育に携わる夫にも大変有意義な経験になりました。また、見学中に授業を受けている生徒の中にゲストの生徒がいて、私を見つけて大興奮するものの、それを抑えて静かにはしゃぐ子がいたり、日本に引率してきた先生が授業をしている教室へ入って行って、校長先生が担当の先生を驚かせるサプライズがあったりと、学校内でも一時日本へタイムスリップしている様でした。

翌日校長先生と事務長さんにクアラルンプールに次ぐ新しい町などを案内して頂き、ゲストの女子生徒の自宅へお茶に伺ったりしましたが、文字にして書き表しようのない様な、お城の様な豪邸に住まわられていて、思い出しただけでも腰を抜かしそうです。

振り返ってみると、マレーシアでお二日間を入れ

ても、彼女達との接点はたったの四日間。それなのに、かけがえのない友人を手に入れた様な思いです。

ホームステイの受け入れは簡単ではないと思います。私の家庭でも以前は出来ていたけれど、今は出来ません。ただ、思っているよりも難しいものではないと思います。大変だったら誰かの協力を得ることもできると思います。ちょっとしたアイデア次第ではないでしょうか。

タイトルにもした国際理解の第一歩にもつながるホームステイですが、おもてなしをしたいと思うと、相手のことをより理解しようと思います。単に知識としての情報収集ではなく、思いやりの気持ちで情報集めをします。その事が真の国際理解に繋がるのではないのでしょうか。一緒に食事を摂りながら、片言の日本語や英語で家族の事や国のことを話して別れていく。たったそれだけかもしれませんが、ゲストにはずっと一生の思い出になることでしょう。ホストやホストをサポートする私達には海の向こうの異国の文化を垣間見せてくれる貴重なひと時になります。

まだ知らない文化を新しく知るという事は、とても大切な事ですが、島国に住む私達日本人にとっては簡単に出来る事ではありません。それをあっからやってきてくれるというのですから、こんなチャンス逃す手はありませんね！

ニコニコBOX

隈元 雅博 現在、国際ロータリーには会員が120万人います。国際ライオンズが140万人、国連NGOである国際青年会議所(JCI)には約16万人の会員がいます。今後、RCやライオンズクラブ、また国際青年会議所の会員と世界で活躍する国境なき医師団や赤十字などのNGOメンバーがその枠を超え、4年に一度『真の平和の祭典』が行われることを真剣に考えていきたいです。

世界平和は自分たちだけのものではなく、世界で共有するものだと考えます。

～Think Glocal～(シンク グローカル)「地域貢献と世界平和活動の両立」を共に目指して行動しましょう！
荒井潤一郎 新村様、金子様、本日はお忙しい中、貴重な卓話ありがとうございました。

川名 正志 記念日の品、頂きました。ありがとうございます。又、出前教室の写真

宮本 茂一	も頂きました。 2人目の孫ができました。これで、おじいさんの『らくいん』を確実に押されました。	廣田 二郎	ございました。ホームステイをもっと身近なこととして考えていくようにしていきたいと思います。
新井 正一	欠席続きで申し訳ありません。出席できる時は精一杯がんばります。誕生祝いありがとうございます。	谷口 弘志	いよいよ吉野ガバナー補佐始動です。皆様のご協力をお願いします。連日TVや新聞紙上で平昌五輪のニュースが取り上げられています
黒岩 靖之	2月17.18日に開催された第41回RYLAセミナーに参加された皆様、ご苦労様でした。皆様の協力で素晴らしいセミナーになったと思います。次年度は2019年2月2日(土)～3日(日)に岩井海岸甚五郎で開催いたします。たくさんの青少年・ロータリアンの参加をお願いいたします。	遠田 祐治	が、昨日の小平選手の金メダルで日本は過去最多の10個目のメダルに並んだそうです。過去最多の長野越えを期待して応援しましょう。昨日は、君津製鉄所の駅伝に参加しました。天気は良かったのですが、強風で寒かったです。順位には課題が残りましたが、完走したので良しとします！
鈴木 荘一	先週はRYLAに当社の社員がお世話になり、ありがとうございます。また土曜日はスリランカセミナー、無事終了しました。心より感謝します。	村上 進	皆様、こんにちは！金子様、卓話ありがとうございます。昨日のライラは楽しく参加させて頂き、若い子達との交流も勉強になりました。
岡野 祐	先週はRLIとライラ活動とロータリー活動に参加してきました。今度の日曜は地区大会です。皆様よろしくお願い致します。	松井泰次郎	ピョンチャンオリンピック、日本人アスリートすごい！金メダルラッシュですね。ラージヒル、パシュートが楽しみです。皆さんで応援しましょう。
倉繁 裕	年初の株高が2月に大きく下落し、また足元の円高の動きがあり、想定以上の変動が発生しています。実態経済が堅調に推移している中、特に円高ドル安の動向が、国内産業の外乱にならないことを願っています。	内山貴美子	皆様、お久しぶりです。すっかりご無沙汰してしまひすみませんでした。金子様、新村様、本日は来訪ありがとうございます。RYLAセミナーに参加されました皆様、お疲れ様でした。多くの会員が参加されて大変嬉しく思います。私も来年は参加したいです！
大住 昌弘	久しぶりの例会参加です。その間RLI、スリランカセミナーに参加し、参考になりました。只、2回ともロータリーバッジが会社に置きっ放しになり、マナーが悪かったと反省しています。	佐々木昭博	2月16～18日の3日間、第41回RYLAセミナーの実行委員として活動させて頂きました。去年はウォークラリーの参加者、今年は裏方の実行委員をやってみて、参加青少年へのRYLAセミナーの影響力を改めて認識出来ました。有難う御座いました。
中村 圭一	先日、人見神社さんにて後厄のお祓いをしていただき、その夜は千成さんにて家族全員(9名)で中華の宴をさせていただきました。ロータリーの皆様には、公私にわたりお世話になっています。ありがとうございます。	前田 亮	オリンピック毎日応援しています。がんばれニッポン！
小川 哲也	金子様、貴重なお話をありがとうございます。ライラに参加された皆様、ご苦労様でした。	福田 順也	昨日、一昨日とライラに出席してきました。楽しい時間を過ごす事ができました。ありがとうございます。
時下 俊一	RYLAセミナーご参加の皆様、お疲れさまでした。	中野 賢二	事務所の改装工事が大半進みました。昔の汚い事務所が見違えるよう
吉田 雅彦	金子様、本日は卓話頂きありがとう		

に綺麗になったので、皆さん遊びに来て下さい。

喜多見 貴 先週の火曜日、水曜日と息子の公立高校の受験日でした。明日が合格発表です。祈るばかりです…

谷 浩司 先日、オックスフォード大学が発表した5年後には無くなる仕事にメイン顧客の仕事が入っている事を知りました。あくまでもイギリスの話なので日本にあてはまらないと思いますが、市況がめまぐるしく変化する時代に無くてはならない会社にする為に考えていかなければと思いました。

西山 肇 金子様、卓話ありがとうございます。23日（金）周西小学校の出前授業に行ってきます。

坂本 直樹 インフルエンザの流行のピークは過ぎたようですが、今シーズンはかからずに済みそうです。引き続き、うがい・手洗いの励行で防止に努めます。

宮寄 慎 金子様、新村様、ご来訪ありがとうございます。昨日は、福島県浪江町の草野神社に行ってきました。震災後、現地では7年振りで斎行され、感慨深いお祭りとなりました。これからも奉仕の精神でがんばります。

高橋 雄一 昨日、一昨日とロータリー活動に参加できず、大変申し訳ありませんでした。

大森 俊介 皆様、お忙しい中お疲れ様でした。新村様、金子様、本日はありがとうございます。土曜日に、スリランカセミナーに鈴木さん、大住さん、内山さんと参加してきました。他、RCの皆様の意識の高さに刺激を受けてきました。ちょっと頑張ろうと思いました。

大川 裕士 今日二十四節気の「雨水」の始まり。降る雪は雨に、張った氷は溶けて水になる、農耕の準備が始まる時期です。また、お雛様を飾る日です。次は、啓蟄。寒さももう少しの辛抱です。アジア三連続開催のオリンピック開幕戦の平昌オリンピック、日本選手頑張ってます。新村様、金子様来訪ありがとうございます。

